



研究題目 ギュンター・グラス研究・日独比較文化・四国グローバル研究

[キーワード: 文学 文化 文化交流]

教授 依岡隆児

<研究の概要>

ドイツ文学専攻でギュンター・グラスの研究をしてきました。それと並行してもともと大学で専攻していた比較文学・比較文化研究をしています。文化交流や日欧の文化比較から近代の諸問題をテーマにしています。具体的には、

ギュンター・グラス研究では、博士論文でその内省的な語りの分析を行い、その後、小説などの翻訳をおこないました。参照:『ギュンター・グラスの世界～その内省的語りを中心に』鳥影社、2007年。『ギュンター・グラス～「渦中」の文学者』集英社、2013年。(翻訳)ギュンター・グラス『玉ねぎの皮をむきながら』集英社、2008年 ほか

日独比較文学に関しては、国際日本文化研究センターの共同研究会に参加して、モダニズムをテーマに、日独の演劇、文学、雑誌の比較研究をして、その成果を論文や学会発表にて公表してきました。参照:「ドイツ・ハイクの生成と俳句再評価」『日本研究』Vol.38, 2008年 ほか

さらに四国におけるグローバル文化の研究を提唱して、四国についての外国人が残した文献や四国出身で国際的に活躍した文化人の文献を調査し、論文や本の形にまとめています。参照:旧制高等学校ドイツ人講師の見た四国、『徳島大学総合科学部言語文化研究』, Vol.19, 2011年、『四国グローバル～日本とドイツの文化交流から』リーブル出版、2015年 ほか

また読書啓発活動を実践しながら、その実践の中から読書によるコミュニケーションの研究を展開しています。参照:『読書のススメ～四国から、グローバルに』徳島新聞社、2011年

ほか

<主要研究業績>

『ギュンター・グラスの世界～その内省的語りを中心に』鳥影社、2007年

『読書のススメ～四国から、グローバルに』徳島新聞社、2011年 (とくしま出版文化賞受賞)

『翻訳文学の視界, 一近現代日本文化の変容と翻訳—』, 思文閣出版、2012年

『ギュンター・グラス～「渦中」の文学者』集英社(新書)、2013年

『四国グローバル～日本とドイツの文化交流から』リーブル出版、2015年

「日独文学にみる「核」の表象についての比較考察」, 『比較文化研究』, No.124, 273-283, 2016年

・Günter Grass nach der Wende., --- Zu seinem Schatten-Motiv. ---, *Neue Beiträge zur Germanistik*, Vol.8, No.1, 45-62, 2009.

<地域(行政)、NPOや企業との連携・共同研究実績>

鳴門市ドイツ館資料研究会(2013年～)

専門分野 : 比較文学・比較文化、ドイツ文学・

E-mail: yorioka.ryuji@tokushima-u.ac.jp

Tel : 088-656-7143

Fax : 088-656-7143

HP :

詳細情報 : <http://pub2.db.tokushima-u.ac.jp/ERD/person/60544/profile-ja.html>

